

**製品名: BCL10 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82142**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	26.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BCL10
別名	CLAP; mE10; CIPER; IMD37; c-E10; CARMEN
遺伝子 ID	8915.0
SwissProt ID	O95999
免疫原	大腸菌で発現したヒト BCL10 (AA: 98-234) の精製された組み換え断片。

**背景**

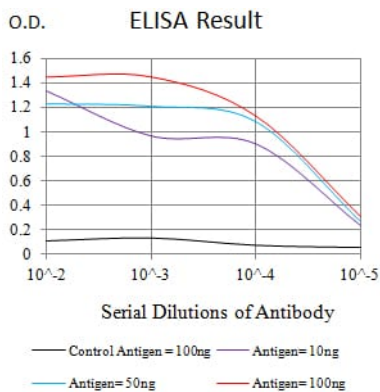
この遺伝子は、粘膜関連リンパ組織（MALT）リンパ腫の症例における転座により同定されました。この遺伝子によってコードされるタンパク質にはカスパーゼリクルートメントドメイン（CARD）が含まれており、アポトーシスを誘導し、NF-κB を活性化すること

が示されています。このタンパク質は、NF- $\kappa$ B シグナル伝達の上流調節因子として機能すると考えられている CARD9、10、11、および 14 などの他の CARD ドメイン含有タンパク質と相互作用することが報告されています。このタンパク質は、MALT リンパ腫で転座することが知られている別の遺伝子によってコードされるタンパク質 MALT1 と複合体を形成することがわかっています。MALT1 とこのタンパク質は NF- $\kappa$ B の活性化において相乗作用を示すと考えられており、どちらか一方の調節不全が悪性腫瘍につながる同じ病原性プロセスに寄与する可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。

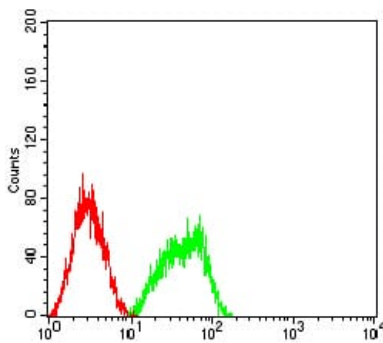
## 研究分野

アポトーシス

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



BCL10 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。